

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		教育センター運営費[スクールカウンセラー配置事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	16	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育指導			課			指導			係	課長名	小野 隆一
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	主に市立小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者 →					児童生徒数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	必要なカウンセリングが受けられている。					①スクールカウンセラーの配置校数(サポートルーム含む) → ②全校における相談件数						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	様々な問題を抱える児童生徒及びその保護者等の相談を受け、適切なカウンセリングを実施することで、問題解決を図る取組を行っている。また、担任や生活指導担当の教員の相談にも適切に対応している。 →					相談件数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,556	6,427	6,478						
	成果指標	②の数値	人	16 (サポ-トルム含む)	16 (サポ-トルム含む)	①16(サポ-トルム含む) ②6,430						
	目標	②の目標値	%	-	-	95						
目標値設定の考え方												
全校生徒に占める相談件数の割合において、95%以上を目指す。												
	活動指標	③の数値	件	7,872	7,576	7,523						
3 経費	事業費(実績)		円	10,247,367	10,807,954	10,134,429		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	10,247,367	10,807,954	10,134,429						
		特定財源(国・都・他)	円			0						
		(うち受益者負担)	円			0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02						
		所要人数(再任用)	人									
	職員人件費(再任用以外)	円	166,200	167,600	165,000							
	職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	10,413,567	10,975,554	10,299,429							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成8 年度									
	(2) 環境の変化		特になし									

事業名称	教育センター運営費[スクールカウンセラー配置事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 小野 隆一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ  <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 毎年、退職者が多く、同一のカウンセラーによる継続的な支援が難しい。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 学校へ配置している東京都公立学校スクールカウンセラーや外部機関との連携を充実させることで、カウンセラーの配置に変更が生じた際も、隙間のない引継ぎを行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 教育センター(サポートルーム・さわやか教育相談室)やスクールソーシャルワーカーをはじめとした、市内外の各機関と今以上に密に連携を取ることで、子どもたちの相談等に十分な対応が取れる体制を構築する。			
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
	施策名： 学校教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 他機関との連携を充実するために、連絡会や協議会を開催し、情報共有の場を設ける。また、より専門的な知識を有する講師等による研修会等を実施し、スクールカウンセラーの知見を更に広げる。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 適した人材の確保や研修会に係る予算の確保。			